# 令和８年度　学校経営計画書

| 学校番号 | 61 | 学 校 名 | 静岡県立小笠高等学校 | 校 長 名 | 小木　充 |
|---|---|---|---|---|---|

1　スクールミッション

県内屈指の授業科目数を誇る総合学科高校として、校訓「至誠実行」のもと、生徒一人ひとりのニーズに対応した授業や、充実した探究的な学習・課題解決型学習を通して、地域社会の未来を支え貢献しようとする人材の育成を目指す。

2　スクールポリシー（育てたい６つの力）

| 育てたい力 | 将来に向けて<br>（グラデュエーション・ポリシー） | 学びの方針<br>（カリキュラム・ポリシー） | 求める生徒像<br>（アドミッション・ポリシー） |
|---|---|---|---|
| **探究力** | 専門性を社会の課題に応用する資質 | ５つの探究科目・基礎学力の定着・ICT の活用 | 実現させたい夢や目標を持つ生徒 |
| **発信力** | 地域社会に発信する資質 | 課題解決型学習の発表<br>各系列を横断する学習活動 | 自分の意思を伝えることができる生徒 |
| **協働力** | 互いを尊重し認め合い対等の立場で力を合わせる資質 | 対話型学習<br>学校行事・生徒会活動・部活動 | 目的を他と共有することができる生徒 |
| **受容力** | 多様な人々と主体的にコミュニケーションができる資質 | 一人ひとりのニーズに対応した授業 | 多様なかかわりを大切にすることができる生徒 |
| **設計力** | 実現させたい夢や目標を設計できる資質 | 適性を活かした進路サポート | 計画的に行動ができる生徒 |
| **継続力** | 実現させたい夢や目標をあきらめずに努力を継続できる資質 | 探究活動の積み重ね | 成長し続けたい生徒 |

3　スクールポリシー具現化の柱

ア　基本的生活習慣の確立と社会性の育成
イ　安全で安心できる学校生活の確保
ウ　基礎学力の定着と主体的な学びの実現
エ　体系的なキャリア教育と進路指導の充実
オ　地域との連携活動、特別活動及、課外活動の活性化及び情報発信
カ　教育環境の整備と事務業務の効率化
キ　教職員の勤務状況改善の推進

4　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|---|---|---|---|
| ア | 基本的生活習慣の確立と社会性の育成<br>（協働力） | ・全校集会や年次集会等を活用して全職員で統一した指導を行う。<br>・進んで挨拶、時間を守る、身だしなみを整える等の習慣化と、マナー向上に心掛けた生活を推進する。 | ・時間を守り、身だしなみを整え、マナー向上を心がけて生活できた生徒 90%以上<br>・自発的な挨拶を行い、相手を思いやる言動や振る舞い、正しい言葉遣いを心がけた生徒 80%以上<br>・期限を厳守し、確実に課題を提出できた生徒 70%以上 | 生徒課 |
| | | | ・時間を守り、身だしなみを整え、マナー向上を心掛けて生活できる。 | 1年次 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ・全遅刻者のうち不注意遅刻の生徒 10%以下<br>・進んで挨拶をし、相手を思いやる言葉遣いや振る舞いができる。 | |
| | | | ・時間を守り、身だしなみを整え、マナー向上を心がけて生活できた生徒 90%以上<br>・自発的な挨拶を行い、相手を思いやる言動や振る舞い、正しい言葉遣いを心がけた生徒 80%以上<br>・期限を厳守し、確実に課題を提出できた生徒 70%以上 | 2年次 |
| | | | ・進んで挨拶ができた生徒 80%以上<br>・概ね時間を守ることができた生徒 80%以上<br>・社会人になる自覚を持ち、清潔な身だしなみ、場面に応じた言葉遣いを心掛け、相手を思いやる言動をしようと務めた生徒 80%以上 | 3年次 |
| | | ・交通安全教室や委員会活動を通して、交通ルールやマナーの遵守、交通安全意識の高揚を図る。 | ・交通事故・違反数 年間 10 件以内<br>・自転車の未施錠点検を週１回行っている。 | 生徒課 |
| イ | 安全で安心できる学校生活の確保（協働力、受容力） | ・危機管理マニュアルに則した実践的な危機管理を行うとともに、地域防災訓練への参加を促進する。 | ・地域防災訓練参加率 75%以上 | 総務課 |
| | | ・資料や研修報告の共有及び啓蒙活動により、人権尊重の精神に基づいた教育活動を行う。 | ・人権教育の伝達研修及び校内研修の実施<br>・人権意識の視点に立った教育を適切に行っている教職員 90%以上 | 研修課 |
| | | ・生徒相談室、養護教諭、担任、年次、カウンセラー等が連携し、問題や悩みをもつ生徒のケアを行う。 | ・問題や悩みを持つ生徒に対し、必要なケース会議を迅速に実施している。<br>・悩みごとなどを気軽に相談することができた 75%以上<br>・「心の健康状態調査」を年２回実施し、個別データに対する確実な支援を実施する。 | 保健課 |
| | | ・清潔な生活環境を保ち、校内美化とごみの削減を推進する。 | ・ごみの分別・削減を心掛けている生徒 90%以上 | 保健課 |
| ウ | **基礎学力の定着と主体的な学びの実現（探究力、協働力、設計力、継続力、発信力）** | ・主体的な授業と適切な学習課題を通じて、基礎学力や技能を習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等を向上させる。<br>・「高校生のための学びの基礎診断」を有効に活用する。 | ・宿題や課題を確実に行い、提出物を出せる生徒 75%以上 | 教務課 |
| | | | ・授業に集中して取り組むことができた生徒 80%以上<br>・進路実現に向け、個々の課題を認識し、主体的に学習できた生徒 80%以上 | 全職員 |
| | | ・生徒による授業評価を年間２回実施し、結果に基づいた授業改善を行う。 | ・授業に満足している生徒 80%以上<br>・授業評価の結果を活用する教員 80%以上 | 教務課 |
| | | ・学校図書館の「読書センター」機能を充実させるため、自由に好きな本を選ぶことができ、読書に親しめる環境を提供する。その一環として、クラス文庫や移動図書を設置する。授業や探究活動での図 | ・朝読書を通し、読書の楽しみを感じることができた生徒 90%以上<br>・各教科の授業・LHR・茶文化・課題研究などで図書館を利用した生徒 70%以上 | 図書課 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 書館利用を推進し「 学習センター」としての機能を果たす。また、本だけでなく、ネットなどの情報を整理して活用する「情報収集センター」機能を促進する。 | | |
| | | ・主体的な学びの実現のため、科目選択ガイダンスや「産業社会と人間」を、生徒の主体的な選択と行動を支える学びへと高めていく。<br>・探究活動を通して、自ら問いを立て考え、他者と協働しながら課題解決に取り組み、学びを自らの進路や生き方に結び付ける力を育成する。 | ・探究に関する質問の肯定率 90%以上<br>・課題研究、探究活動は３年間の総まとめとして充実した活動実践を行い、自信を持って成果を伝えることができた生徒 80%以上<br>・進路実現後も自主的な学びを続けることができた生徒 70%以上 | 教務課<br>年次<br>教科<br>進路課<br>総合学科企画課 |
| エ | **体系的なキャリア教育と進路指導の充実（設計力、継続力）** | ・インターンシップや市町、企業等と連携したキャリア教育を通して、自ら社会とつながる就業観を育み、学びへの探究を深める力を育成する。 | ・課題研究等の授業、インターンシップ、生徒会活動、部活動等の活動において、地域との連携と交流活動を活発に実践できたという質問の肯定率 80% | 進路課 |
| | | ・企業からの情報収集及び、企業説明会の実施により、生徒への正確な情報提供と実効性のある就職支援を行う。 | ・自己の適性を生かした企業選択ができたと答える生徒 90%以上 | 進路課 |
| | | ・進路多様校として、生徒一人ひとりの希望に応じ、進学・就職の双方に柔軟に対応していく。<br>・進学支援の質の向上に向け、情報共有を組織的に常態化する。 | ・保護者等による就職模擬面接の実施<br>・希望した企業等に合格した生徒 90%以上<br>・希望した学校等に合格した生徒 90%以上 | 進路課 |
| オ | **特別活動、課外活動の（協働力・受容力）** | ・学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動は、目的意識を明確にした取組になるよう工夫する。 | ・文化祭や体育大会、ホームルーム活動等主体的に取り組んだ生徒 90%以上 | 生徒課 |
| | | ・生徒の意志を第一に尊重した活動を前提に、部活動を通して向上心と社会性を育み、その活性化を図るとともに、生徒が主体的に活躍する場として人間形成の意義を一層高めていく。 | ・部活動を通して、「協働力」「受容力」を向上させた生徒 90%以上 | 生徒課 |
| | **地域との連携活動、活性化と情報発信（探究力、協働力、発信力）** | ・菊川市、地域の教育機関、諸団体との連携と交流を、組織的に、継続的に推進する。 | ・文化祭を通した地域連携の実施<br>・課題研究等の授業、生徒会活動、部活動等の活動において、地域との連携と交流活動を活発に実践できた生徒 90%以上<br>・「小さな収穫祭」の実施 | 教務課<br>生徒課<br>教科<br>関係部 |
| | | ・学校運営協議会を通して地域や保護者等との協働を図り、信頼される学校づくりを推進する。 | ・学校運営協議会が「地域とともにある学校」をめざし、学校運営に対する支援の拡充に向けて協議する場となる。 | 管理職 |
| | | ・HP や SNS 等を活用して地域、保護者等に情報を日常的に提供する。 | ・提供情報数が月平均 10 本以上 | 管理職<br>広報課 |
| | | ・地域が本校に期待する教育を的確に捉え、そのニーズに応えるとともに、本校の魅力を発信する一日体験入学や学校説明会、広報活動 | ・一日体験入学、学校説明会、オープンスクールの参加者の満足度 90%以上 | 管理職<br>広報課 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | を推進する。 | | |
| カ | 教育環境の整備と事務業務の効率化 | ・ＩＣＴ、図書、教具等が効果的に活用できる教育環境を整備する。 | ・ＩＣＴ環境の整備により、教育の質が向上した、業務が円滑になった、業務が軽減したと回答する教諭が 80%以上 | 情報管理課 |
| | | | ・教科からの要望を定期的に集約し、図書資料の充実を図る。 | 図書課 |
| | | ・適正な学校経営予算の編成と執行、施設・設備の効果的な管理と運用、教育環境の充実に努める。 | ・危険回避の観点で施設・設備の補修を行う。施設・設備に起因した事故０件<br>・備品等の購入を、優先順位を明確にして的確に行っている。 | 事務部 |
| キ | **職員の勤務状況改善及び職員の資質向上の推進** | ・各分掌、委員会、年次、教科等の年間を見通した業務の精選と効率化を図るとともに、分掌の整理を実施する。 | ・業務を精選・整理した上で、分掌の統廃合を推進する。 | 管理職 |
| | | | ・校内研修の内容満足度 85%以上 | 研修課 |
| | | ・持続可能な部活動運営に向け、働き方改革の視点も踏まえ、本校にふさわしい部活動支援の在り方を検討する。 | ・本校にふさわしい部活動支援の在り方を策定する。 | 全職員 |